（様式２）

【マッチングサポートフェーズ】

【要約版】

**「官民による若手研究者発掘支援事業」研究開発提案書**

*＊【要約版】は２ページ以内にまとめてください。（文字サイズ：10.5ポイント以上）*

*＊青字及び赤字の説明文は削除して提出してください。*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発テーマ名 | *＊提案する研究開発テーマ名を記載　≪公開項目≫* |
| 技術キーワード | *＊提案する研究開発の技術キーワード（３つ以内）を別紙１「技術キーワード一覧」から選択して番号で記載（例：光触媒を用いた排ガス処理技術であれば「4200、3190」）* |
| 出口イメージ省エネルギー・ＧＨＧ削減 | *＊期待される研究開発成果とその応用先（製品・サービス等）を１～２行で簡潔に記載　≪公開項目≫**＊「医薬・創薬分野、医療機器分野」に限定した応用を目指す研究開発は対象外**＊研究開発の主たる目的が「省エネルギー」・「ＧＨＧ削減」である場合は左記ボックスにチェック（✓を記載）し、詳細版で内容を記載**※地球温暖化防止に関連する研究開発提案を行う若手研究者のうち、助成事業に採択された若手研究者、マッチングイベントへの登壇者として選定された若手研究者を、統合イノベーション戦略推進会議における革新的環境イノベーション戦略のアクセラレーションプログラム「ゼロエミクリエイターズ500」にて、関連国際会議への登壇候補とする等の支援対象「ゼロエミクリエイターズ」とすることが予定されています（詳細は調整中）* |
| 1. 提案内容をＰＲしたい業界、ＰＲポイント
 | *＊例えば自動車業界、エネルギー業界・・・等を記載**＊企業が分かりやすいよう、関心を持つようにＰＲポイントを記載**≪公開項目≫* |
| ２．事業期間及び予算計画 | 事業実施期間：○年間（２０２○年度～２０２○年度）事業費の総額（マッチングサポートフェーズ研究開発期間合計）： ○○○○円*＊助成金の額は５百万円以内／年とする。* |
| 1. 研究開発の概要
 | *＊研究開発の「必要性（社会、産業への効果）」・「目的」・「目標」等を10～20行程度で簡潔に記載　≪公開項目≫* |
| 1. 提案者の情報
 | 氏名　　　　　：○○　○○所属機関・部署：○○大学○○部○○科役職（学年）　：○○所属機関所在地：〒○○○－○○○○　○○県○○市・・・・・ＴＥＬ　　　　：△△△△－△△－△△△△（代表）ＦＡＸ　　　　：△△△△－△△－△△△△Ｅ‐ｍａｉｌ　：\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\*e-Rad研究者番号：○○○○○○○○ |

**※本研究開発提案書【要約版】の研究開発テーマ名、出口イメージ及び項目１～３については、企業との共同研究等の機会の創出のため、応募を受け付けた全ての提案についてＮＥＤＯウェブサイトに掲載します。秘匿したい内容は記載しないでください。提案書の提出前に、提案書の記載内容について所属する機関の産学連携部門、連携する研究機関等に確認してください。なお、提案者の氏名・所属を含め、個人情報に係るものは公開しません。**

【マッチングサポートフェーズ】

【詳細版】

**「官民による若手研究者発掘支援事業」研究開発提案書**

　*＊【詳細版】は６ページ以内で作成してください。（文字サイズ：10.5ポイント以上）*

*＊青字の説明文は削除して提出してください。*

*＊必要に応じて図表等を挿入してください。*

**研究開発テーマ名：**○○○○

**１．研究開発内容**

１－１．研究開発の必要性（社会、産業への効果）

　*＊提案する研究開発の成果を活用して解決を目指す社会又は産業の課題について、可能な限りエビデンスに基づいて記載*

１－２．研究開発の目的

　*＊１－１.で記載した必要性に対し、提案する研究開発でどのような解決策を実現しようとするか、現時点での研究開発の状況も含めて具体的に記載*

１－３．研究開発の目標

　*＊１－２.で記載した目的について、提案する研究開発において達成を目指す目標を、実用化までのマイルストーンや競合技術の状況を踏まえて、可能な限り定量的に記載*

１－４．実用化に向けての課題と解決策

*＊提案する研究開発の成果を実用化するにあたって、１－３．で記載した目標を達成した上でさらに障害となる「技術的課題」・「法的課題」等があれば、想定される解決策（取得すべきデータ、法改正の提案等）と併せて記載*

１－５．類似の研究開発と本研究開発の優位性

*＊類似の研究開発があれば記載し、提案する研究開発の優位性を記載*

**２．研究開発体制**

２－１．研究開発体制の概略

*＊提案する研究開発体制の概略（機関及び役割）を記載（下図は一例）*

Ａ．●●大学●●部●●科

●●の開発

Ｂ．国立研究開発法人○○研究所

○○の分析

２－２．事業に登録する若手研究者（主任研究者及び登録研究員）

*＊必要に応じて表のセルを追加／削除してください。*

*＊主任研究者及び登録研究員の要件については公募要領４－１．参照*

*＊RA（リサーチアシスタント）の雇用については公募要領９－１５．参照*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 氏名 | 所属機関 | 役職 |
| 主任研究者（提案者） | ○○　○○ | ●●大学●●部●●科 | 助教 |
| 登録研究員 | ○○　○○ | ●●大学●●部●●科 | PD |
| 登録研究員 | ○○　○○ | ●●大学●●部●●科 | D2（RA） |
| 登録研究員 | ○○　○○ | 国立研究開発法人△△研究所 | 研究員 |

**３．研究開発予算**

*＊助成金の額は５百万円以内／年とします。*

*＊助成金の交付金額は、採択決定後に研究開発実施内容等を精査した上で決定します。*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 202○年度 | 202○年度 | 202○年度 |
| ＮＥＤＯに申請する助成金の額 | 円 | 円 | 円 |
| 合計 | 円 | 円 | 円 |

※マッチングサポートフェーズ研究開発期間

**４．研究開発計画**

*＊必要に応じて表のセルを追加／削除してください。*

*＊1テーマあたりの事業期間はマッチングサポートフェーズ、共同研究フェーズを合わせて最大5年。但し、マッチングサポートフェーズの事業期間は最大2年。*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 事業期間（マッチングサポートフェーズ） | 事業期間（共同研究フェーズ） |
| ２０２○年度 | ２０２○年度 | ２０２○年度 | ２０２○年度 | ２０２○年度 | ２０２○年度 |
| 研究開発項目Ａ．●●の開発A-1. ●●の調査A-2. ●●技術の開発A-3. ●●技術の開発A-4. ●●の開発 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究開発項目Ｂ．○○の分析B-1. ○○分析の検討B-2. ○○分析技術の開発B-3. ○○の分析 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究開発項目Ｃ．△△の検証C-1. △△技術の検証C-2. △△の検証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※提案する研究開発期間分を記載

**ステージ
ゲート
審査**

※企業との共同研究等の形成に至った場合は、ステージゲート
審査により共同研究フェーズへの事業継続の可否を審査
（実施時期は変更の可能性あり）